

A background image of cherry blossoms in full bloom, with soft pink and white petals against a blurred sky. The blossoms are in sharp focus in the foreground, while the background is out of focus.

第14回 牧みゆき市政報告会

2026.4.11 Sat in西宮北口

今日のお話



活動報告(1~3月)

市長選について(所感)

3月定例会・予算審議について

一般質問 学校改築・公共施設の修繕・更新

一般質問③ 甲子園口駅・駐輪場整備

一般質問④ DX推進・組織改革

委員会 新型インフルエンザ等対策行動計画

その他(新駅・外国人施策・リゾ鳴尾浜 ほか)

お知らせ

M a k i M i y u k i

活動報告 1月～3月



Maki Miyuki

市長選について（所感）



投票率39.63%

前回 41.28%を下回る

2025.7	参議院選挙	63.47%
2025.10	衆議院選	56.18%
2026.2	衆議院選	59.9 %

市議会選挙 37.96%

3月定例会・予算審議について

3月定例会の日程

2月中旬 予算要望への回答

2/16~24 施政方針・代表質問

2/25~3/1 一般質問 **登壇！**

3/4 常任委員会審査

3/9~11 予算分科会審査

3/18 本会議最終日

3/29 市長選挙投票日

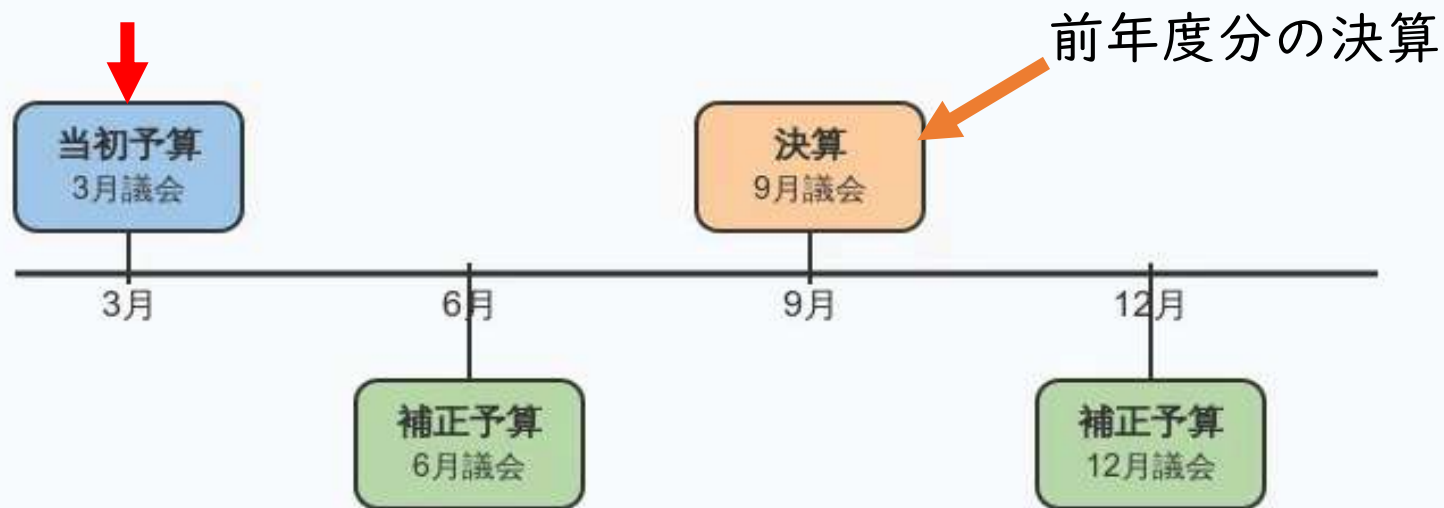
予算審議に賛成しました

- ・市長選を控える8年度予算は骨格予算
- ・4月までに修正案を作成できない
→予定されている事業実施の遅れなど
市民に与える影響が大きい

例えば

- ・西宮浜義務教育学校の給食室の一元化
- ・校内サポートルームを週1日→週5日に拡充
実施できなくなる、もしくは補正予算成立後の実施と、時期が大きく後ろ倒し

予算と決算 in 地方議会



予算とは
これから使うお金の計画
未来の計画

決算とは
使ったお金の報告
過去の実績

令和8年度予算 ―予算規模―

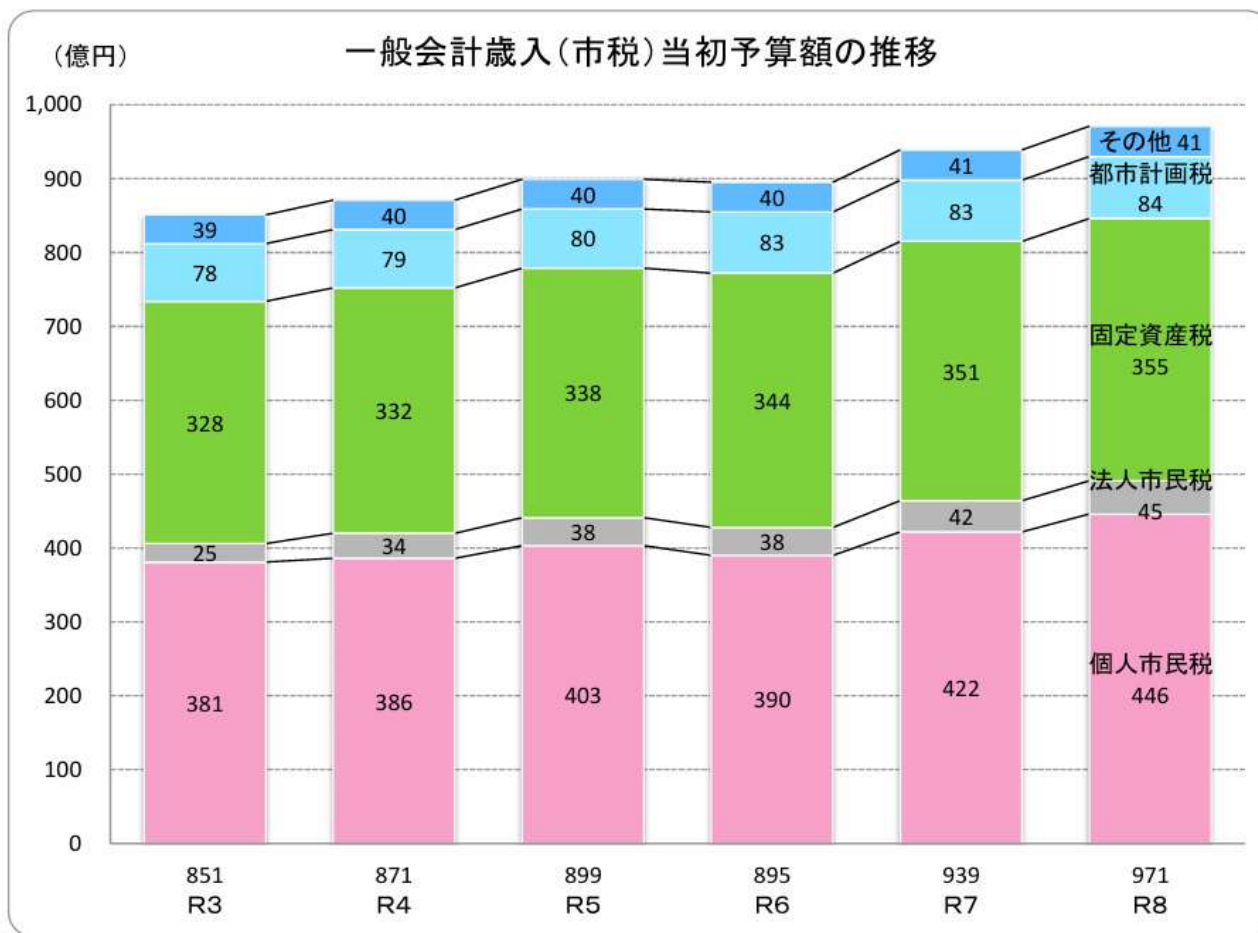


今年も
過去最大の予算規模

一般会計 2214億
特別会計 1056億
企業会計 442億

3712億円

—歳入（入ってくるお金）—



税収の伸びで歳入UP

個人・法人市民税 27億増

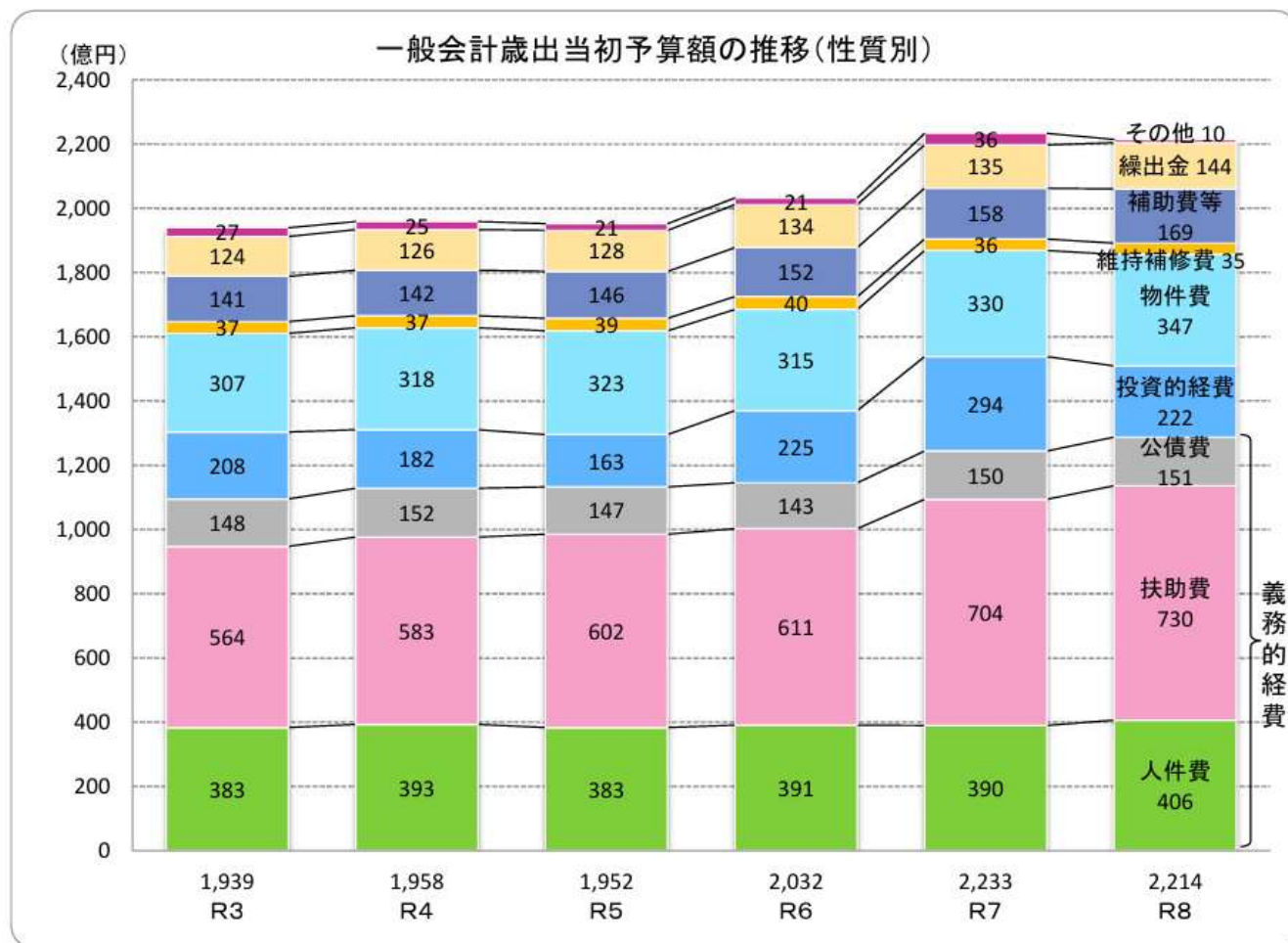
固定資産税 4億増

⋮

自動車税・たばこ税・都市計画税など

全体で約32億増

—歳出（使うお金）—



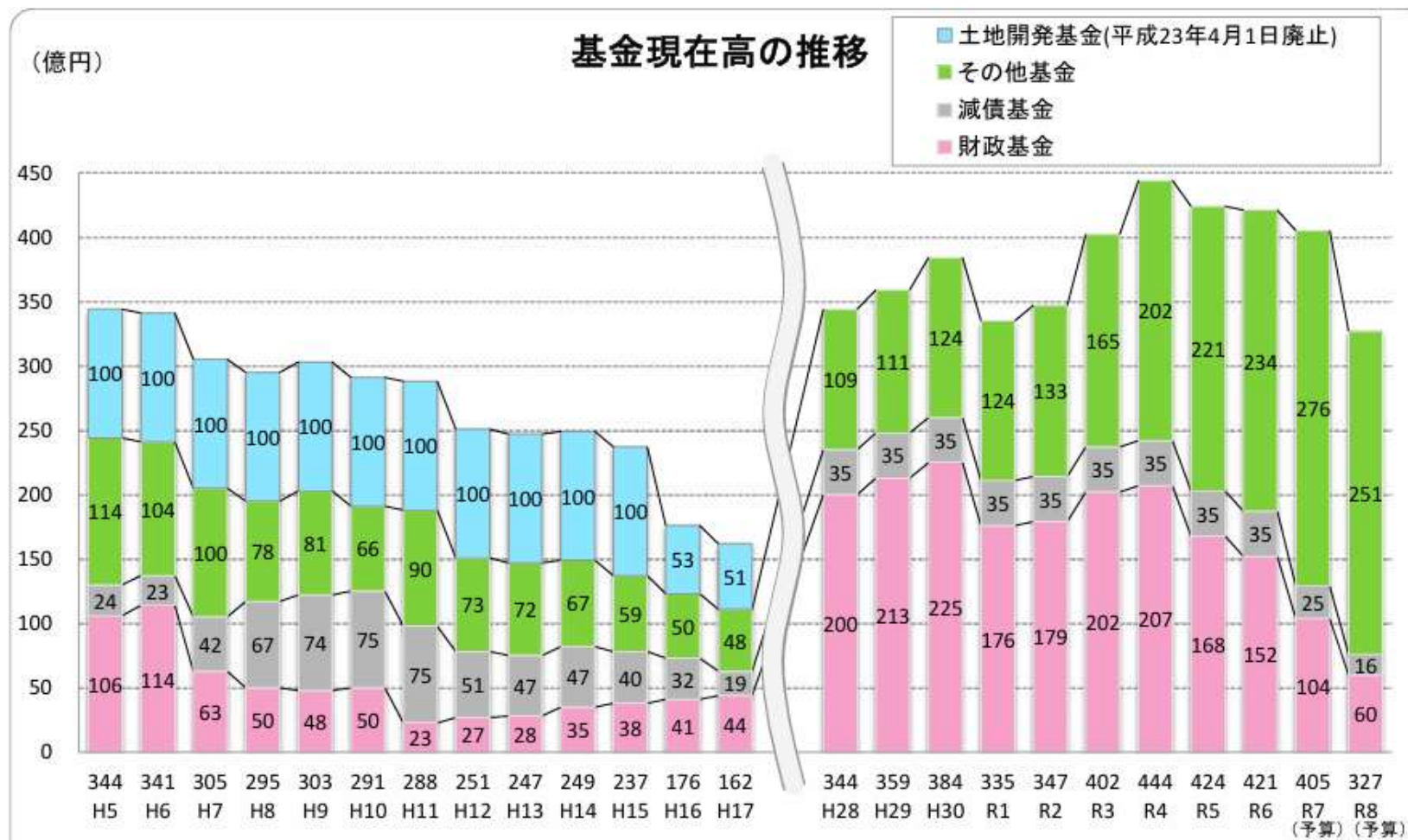
歳出もUP

扶助費 +約27億
人件費 +約15億
など義務的経費が増



あまり増えると
必要な投資ができなくなる
物件費も17億増

基金（貯金）残高



財政・減債基金
45億取り崩し



残高
60億(予定)

一般質問

学校改築・施設の修繕・更新

★神戸新聞掲載

先送りされた修繕・更新

877件 約657億円

←入っていない
改築(建替え)問題

うち学校施設 617件・約553億円が先送り

深刻な老朽化

- ・学校施設の約26%が築50年以上。築60～70年の学校も複数ある
- ・雨漏りや漏水など日常的に不具合が発生
- ・対応が間に合っていない

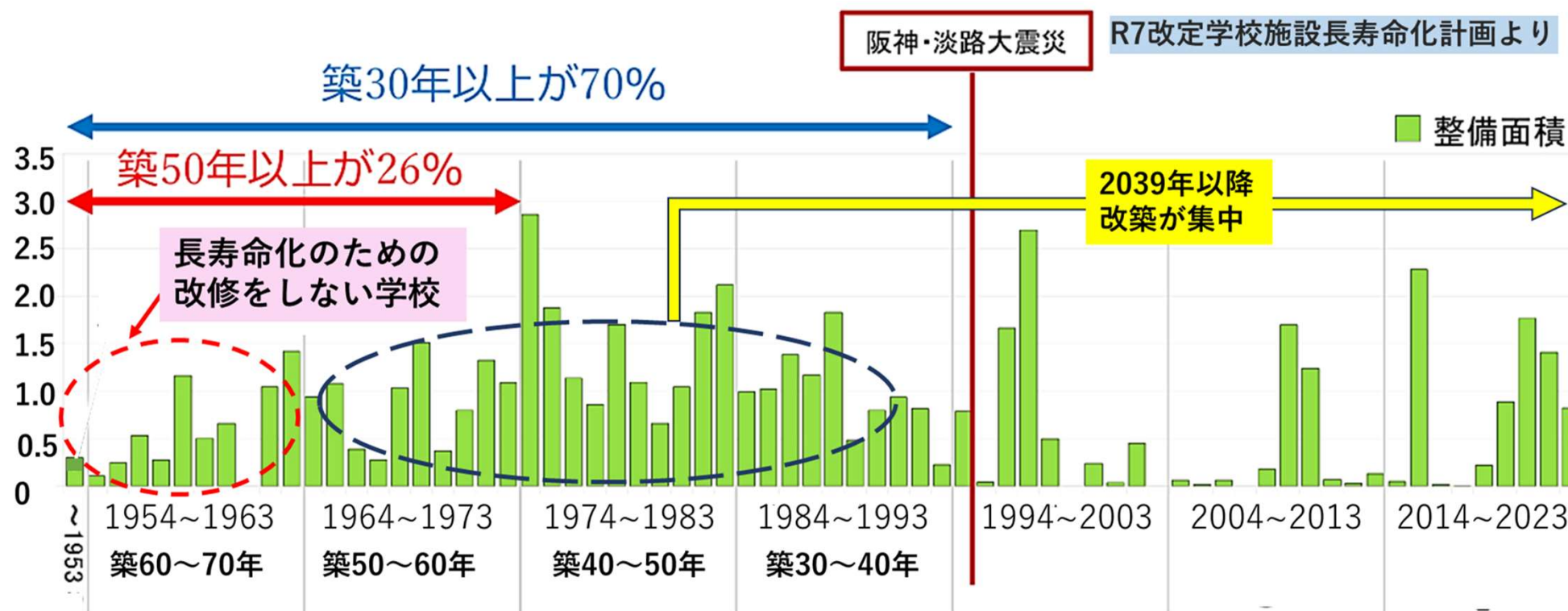
改修・改築等の遅れ

- ・修繕・更新計画では学校施設の先送りがダントツ
- ・具体的な改築計画があるのは大社中学校のみ

先行きが見通せない

- ・先送りが前提の計画
- ・長期財政計画に正しく見込まれていない
- ・将来的ビジョンがない（基礎データも不揃い）

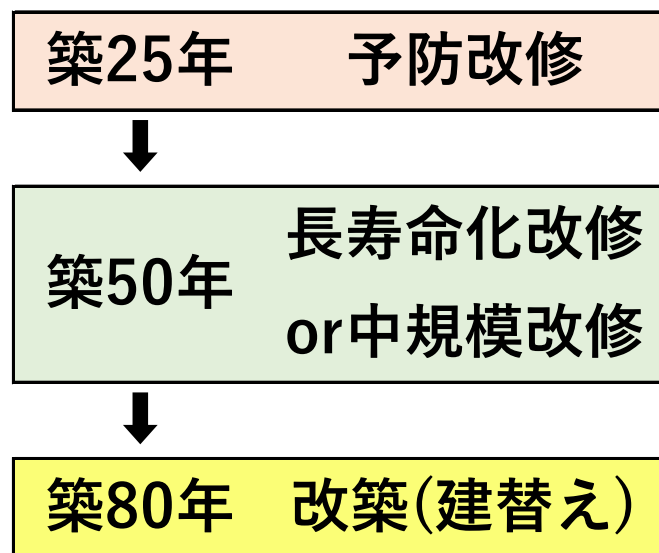
学校の整備状況



学校長寿命化計画

2018年(平成30年策定→令和7年改定)

★子供たちが安全に、安心して利用できる教育環境の整備を目指し、施設を長寿命化することで、財政負担の平準化・軽減を図り、改築・改修の優先順位付けを行うことを目的としています。



改修をしない学校も80年で建替えの予定

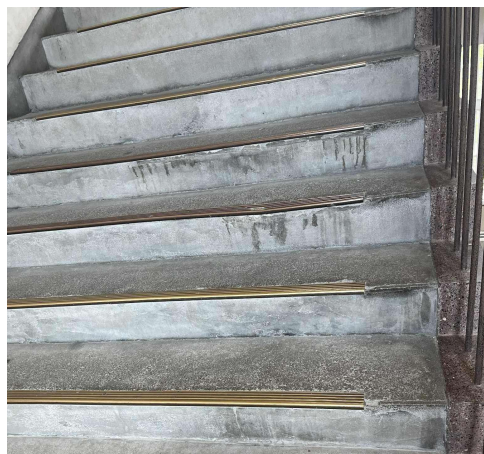
しかし、策定時点で、50年以上を経過していた学校はこれら改修の対象外。
→同じ築80年で改築となってる？！

長寿命化改修・中規模改修を実施しない学校

広田小 2棟、鳴尾北小 2棟、神原小 1棟(体育館)
小松小 3棟、上甲子園中 3棟(内1棟体育館)
学文中 3棟(内1棟体育館)、浜脇中 4棟(内1棟体育館)
瓦木中 1棟(体育館)、鳴尾中 3棟(内1棟体育館)
甲陵中 1棟(体育館)、今津中 2棟(内1棟体育館)
山口中 1棟 → **12校26棟**

■改築の目処がたっていない学校の様子

応急対応で凌ぐのは限界です。



滑り止めが機能しない階段

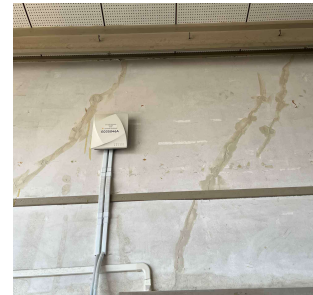
雨漏りの跡



古い廃線



クラックの補修跡



壊れたコンセントBOX



角が崩れた外階段



補修でパッチワーク状になっている廊下



抜けたことのある床



古い校舎の廊下

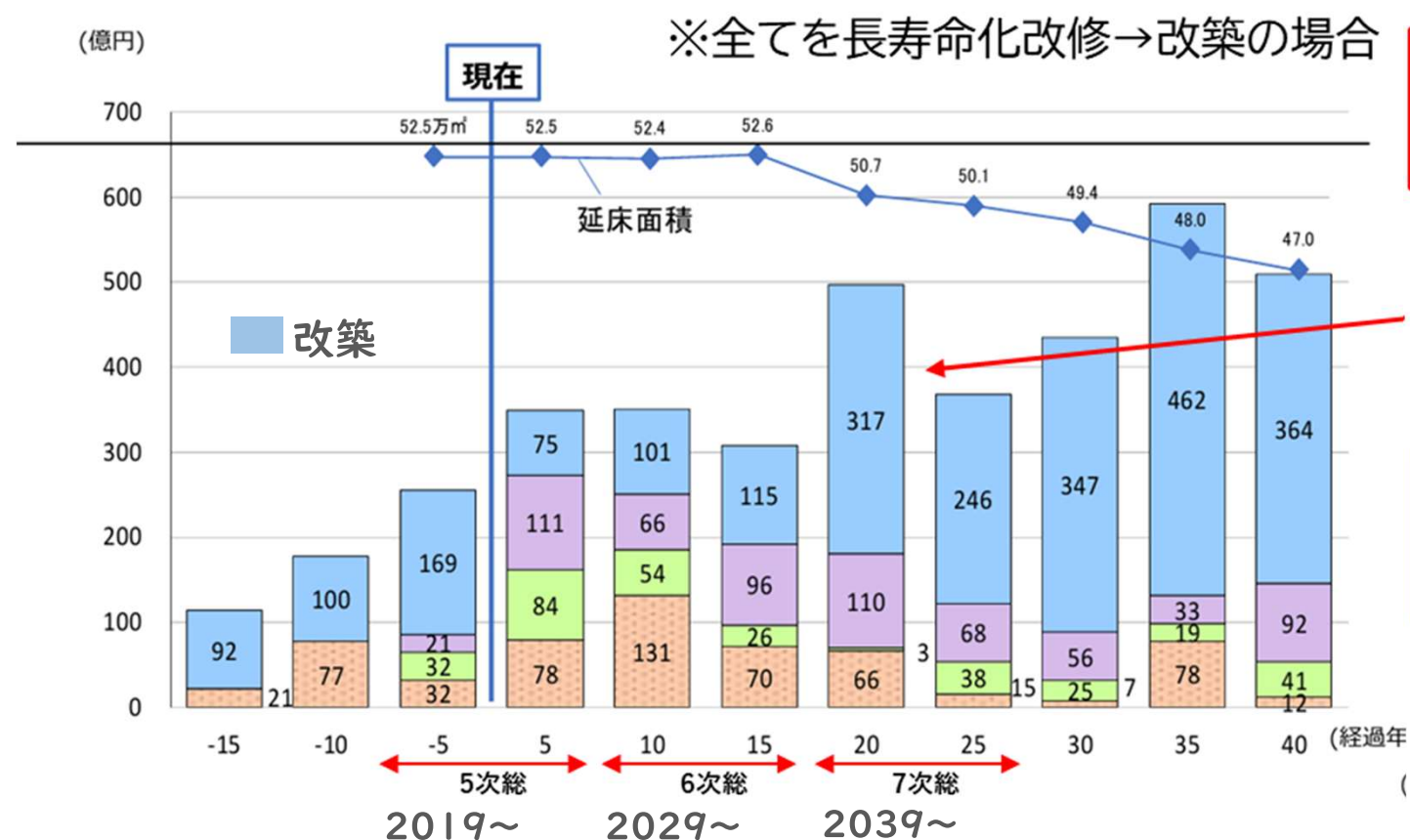
設備の老朽化

**漏水も深刻…
昨年2校で漏水が発生
約3,323万円補正予算を計上**

**※上下水道局では漏水の早期発見・計画的修繕に努めています
そもそも施設内の水道管の全体更新などはできず、難しい**

今後40年間の改修・改築予測

学校改修・改築のコストシュミレーション（2009～2063年）



今後40年間
総額3,407億円
85.2億円/年

※中規模改修
→改築の場合は
78.2億円/年

第7次総合計画期間以降
に改築が集中

老朽化の進行、
予算や工事の平準化からも
改築時期を前倒しすべきでは？

学校改築 質問と答弁

質問

- ・改修対象外の学校の建て替えを前倒しすべき。
- ・第5次総合計画期間内にも改築を具体化すべき

答弁

躯体部分は健全。全校前倒しは現時点では必要ない。劣化度調査を全校実施し、結果によっては第5次総合計画中に新たな改築計画に着手する可能性はある。

再質問

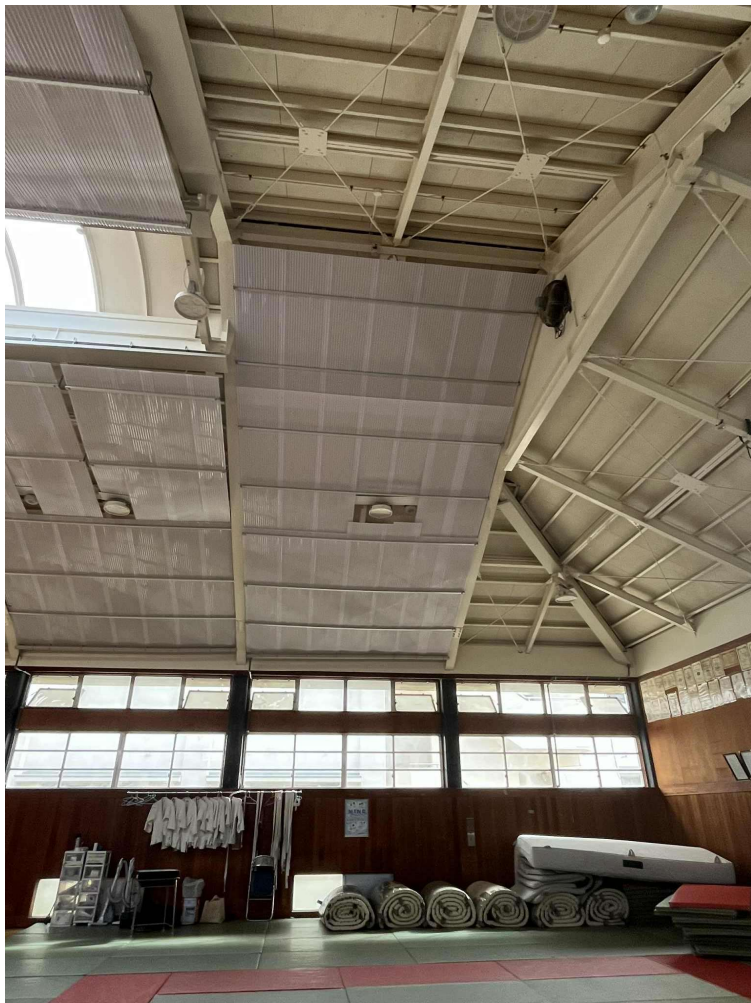
ボロボロだけど問題ないの？

このままでよいはずもなく…総合的判断必要

・今年度予算で、昨年取り上げた
浜脇中学校格技場ほか複数校の床
屋根改修のため8600万円が計上。
来年はこれを上回る額を予定 ✨

応急対応の延長で、根本的な解決には
改築の前倒しが必要。
改修を重ねることは、結果としてコスト増
につながる

▶ 子どもたちの安全はもちろん、学校は災害時には避難所等防災の拠点となる重要施設
改築の前倒しを強く求める。



課題は残るものの、

- ・修繕予定なく6年間応急対応で放置されていた格技場の屋根の改修
- ・小松・広田小などの床改修
- ・その他複数校の改修が予算化されたことは前進！と受け止めています 🌸

課題 学校の統廃合
学校施設への施設集約
再来年までに具体化

皆さんの暮らしに大きく影響してきます

一般質問② 普通財産の修繕・更新管理

課題（フレンテ西宮）

空調設備が31年間未更新。費用は億単位にもかかわらず財政計画に未反映

そのほか普通財産の建物でも修繕・更新、老朽化対応に遅れがあり、市民利用に影響（監査指摘）

問題の構造

普通財産は計画対象外
→計画なし

所管課単独管理の限界

施設の方針決定決定は
部局だけでは難しい
→遅れ

市の答弁

商業床の方針は令和9年に議会へ報告(期限)

中長期修繕計画の対象拡大
横断的協議の場を設置
一元集約・管理に向け
始動

▶ 老朽化が顕在してから動くのではなく、早期に施設方針と修繕計画を一体的に検討する体制の確立を求める

普通財産の修繕・更新の管理

施設名	貸付契約	中長期 修繕計画	所管課
フレンテ西宮(商業床)	有償	×	商工課
東山ぽぽ保育園	無償	○	保育幼稚園支援課
西北夢保育園	無償	○	保育幼稚園支援課
名神あけぼの園	無償 (R10.3.31迄 減免)	×	障害福祉課
武庫川すずかけ作業所	無償 (R10.3.31迄 減免)	×	障害福祉課
芦原デイサービスセンター	無償	×	福祉まちづくり課
高須デイサービスセンター	無償	○	福祉まちづくり課
ハローワーク西宮	有償	○	労政課
シルバー人材センター	無償	×	労政課
日野町自治会集会施設	無償	×	管財課

貸付契約の形態や、その内容により
修繕・更新の計画の対象かが異なる



同じ無償貸付でも異なる

同じデイサービスセンターでも異なる

同じ所管課でも異なる

- ・全施設の状態・状況の把握
- ・そのデータをもって部局間を超え協議（横断的協議）※財政
- ・市としての方向性を見極めつつ、施設のあり方（統合・集約・廃止）の具体案を作成→議会へ
- ・市としての方向性を示し、市民・関係事業者への提示と協議
- ・審査会など専門家や市民も交えた協議の末、決定

令和7年度包括外部監査

こうした動きが全く進んでいなかったことを、強く指摘

看過ならない。

市民との信頼関係を著しく損なう結果を招きかねない。

市長始めマネジメント層は強いリーダーシップを発揮すべきである。

平成27年度の「集会施設の適正配置に関する答申」および平成29年度の「総合的有効活用方針」において、エリアごとのパターン別の施設の再編や統廃合、公民館・市民館等の将来的な統廃合、並びに共同利用施設の市民館への用途変更等、明確な方向性が示されていたが、令和7年度現在に至るまで、これらの方針はほとんど実現されておらず、具体的な施策の立案・実行も確認されていない状況である。

答申から約10年が経過しているにもかかわらず、進捗が全く見られない現状は、行政における計画策定と実行との深刻な乖離を示しており、看過できない問題であり、当該答申は単なる参考意見ではなく、市民参加や専門的検討を経て策定された重要な政策指針であることから、これを長期にわたり放置することは、市民との信頼関係を著しく損なう結果を招きかねない。また、公共施設の老朽化や利用実態の変化が進行する中で、適正配置の議論を先送りすることは、将来的な財政負担の増大や、市民サービスの質的低下を招くおそれがあり、極めて重大な行政課題である。市は持続可能な集会施設運営に向けて、過去の答申や方針を放置するのではなく、再評価とロードマップ策定を通じて、持続可能で市民に支持される集会施設のあり方を構築すべきである。

一般質問③④ 駐輪場整備・DX推進

③ 甲子園口駅・駐輪場整備

- ・年間乗降客数約630万人（市内6位）
- ・駐輪場は常に満車・定期は1～2年待ち
- ・民間補助制度（年間50万円）の見直し
- ・JRとの包括連携協定を活用した協議強化
- ・駅ごとの必要台数を算出した計画的整備を要望

④ DX推進・組織改革

- ・DXはもとよりオンライン化約5割程度システム導入より人材配置・投与
- ・各課にDX推進リーダーを配置し横断チームを構築
- ・ロードマップ・達成目標の明確化
- ・外部専門人材（任期付き）の採用
- ・人事評価への反映・若手が活躍できる環境を

・新型インフルエンザ等対策行動計画の改定

国の政府行動計画（R6.7改定）→ 兵庫県計画（R7.3改定）→ 西宮市計画（R8.7改定目標）

各論13項目の概要

①実施体制

- ・国、地方公共団体、JHS、研究機関、医療機関等の多様な主体が相互に連携し、国際的にも協調することにより、実効的な対策を講ずる体制を確保
- ・平時における人材確保・育成や実践的な訓練による対応力強化、有事には政府対策本部を中心に基本的対処方針に基づき確かな政策判断・実行

②情報収集・分析 ③サーベイランス

- ・サーベイランス及び情報収集・分析の体制構築やDXの推進を通じた、平時からの効率的かつ効果的なサーベイランス、情報収集・分析の実施
- ・感染症対策の判断に際した、感染症、医療の状況の包括的なリスク評価、国民生活及び国民経済の状況の考慮

④情報提供・共有、リスクコミュニケーション

- ・感染症危機においては、情報の錯綜、偏見・差別等の発生、偽・誤情報の流布のおそれ
- ・感染症対策を効果的に行うため、可能な限り双方のコミュニケーションを行い、リスク情報とその見方の共有等を行い、国民等が適切に判断・行動
- ・平時から、感染症等に関する普及啓発、リスク管理体制の整備、情報提供・共有の方法の整理等

⑤水際対策

- ・国内への新型インフルエンザ等の病原体の侵入や感染拡大のスピードをできる限り遅らせるため、検疫措置の強化や入国制限等の水際対策を総合的に実施
- ・病原体の性状等を踏まえ、対策の有効性、実行可能性、国民生活及び社会経済活動に与える影響等を総合的に勘案し、実施すべき水際対策を選択・決定
- ・状況の進展に応じ、対策の縮小・中止等見直しを実施

⑥まん延防止

- ・医療提供体制を拡充しつつ、治療を要する患者数をその範囲内に収めるため、感染拡大のスピードやピークを抑制
- ・医療ひっ迫時にはまん延防止等重点措置、緊急事態宣言を含む必要な措置を適時適切に実施
- ・ワクチン、治療薬等の状況変化に応じて対策の縮小・中止を機動的に実施

⑦ワクチン

- ・「ワクチン開発・生産体制強化戦略」に基づき、重点感染症を対象としたワクチンの研究開発を平時から推進し、研究開発の基盤を強化
- ・有事に国内外で開発されたワクチンを確保し迅速に接種を進めるための体制整備を行う
- ・予防接種事務のデジタル化やリスクミを推進

⑧医療

- ・医療の提供は、健康被害を最小限にとどめるために不可欠、かつ社会・経済活動への影響を最小限にとどめることにつながる
- ・平時から、予防計画及び医療計画に基づき、都道府県と医療機関の間で医療措置協定を締結することを通じて、感染症医療を提供できる体制を整備
- ・感染症危機には、通常医療との両立を念頭に置きつつ、感染症医療を提供できる体制を確保し、病原性や感染性等に応じて変化する状況に柔軟かつ機動的に対応

⑨治療薬・治療法

- ・重点感染症を対象とした治療薬の研究開発を平時から推進し、研究開発の基盤を強化
- ・有事に治療薬を確保し、治療法を確立するため、研究開発、臨床試験、事業承認、製造、流通、投与、予後の情報収集及び対応までを含む一貫した対策・支援を実施

⑩検査

- ・必要な者に適時の検査を実施することで、患者の早期発見、流行状況の的確な把握等を行い、適切な医療提供や、対策の的確な実施・機動的な切替えを行う
- ・平時には機器や資材の確保、発生直後より早期の検査立上げ、流行初期以降では病原体や検査の特性を踏まえた検査実施の方針の柔軟な変更を行う

⑪保健

- ・有事において地域の実情に応じた効果的な対策を実施して、住民の生命と健康を保護する
- ・都道府県等は、保健所や地方衛生研究所等において、検査、積極的疫学調査、入院勧告・措置、療養先の調整、移送、健康観察、生活支援等を実施
- ・平時から、業務負荷の急増に備え、有事に優先的に取り組む業務の整理、ICTの活用等による業務効率化・省力化を行う

⑫物資

- ・感染症対策物資等*が不足する場合、検疫、医療、検査等の実施等が滞る可能性
- ・平時の備蓄や有事の生産要請等により、医療機関を始めとした必要な機関に感染症対策物資等が十分に行き渡る仕組みを形成

※医薬品、医療機器、個人防護具等

⑬国民生活・国民経済

- ・感染症危機時には国民生活及び社会経済活動に大きな影響が及ぶ可能性
- ・平時に事業継続等のために必要な準備を行い、有事に安定化を図ることが重要
- ・国等は影響緩和のため必要な対策・支援*を行う

※生活関連物資等の安定供給の呼び掛け、まん延防止措置等の心身への影響を考慮した対策、生活支援を要する者への支援等

当時パブリックコメント
19万件

県計画改定時は…
数件

計画について2回の
一般質問を行いました

一般質問の振り返り 新型インフルエンザ等対策行動計画の改定

課題

- ① コロナ禍の検証が不十分なまま作られた計画
- ② マスクやワクチン接種の有無による差別・偏見の問題が、位置づけられていない
- ③ 言葉の定義や具体策が不明瞭な項目が多い

① 国・県へのフィードバック

現場の声を国・県に
反映し、明記する

② 市民とのコミュニケーション

機会を捉えた双方向の
対話を整備

③ ワクチン情報の共有

副反応件数・リスクへの
対応状況の共有

④ 多文化共生の尊重の明文化

マスク・ワクチン未接種者
に対する姿勢も計画に明記

市民に一番近い行政機関として
国・県計画の踏襲だけでなく独
自で考えて策定してほしい

3月の委員会報告 改定素案の公表

・計画 約150ページ
・マニュアル 約800ページ

○ フィードバック機能

対策が実態に合っていない場合の国への意見提出明記
提出用の書式も整備

○ 双方向コミュニケーション

速やかな情報提供・共有体制を構築。可能な限り双方向的
にコミュニケーションを行いリスク情報とその見解を共有

○ ワクチン情報公開

副反応疑い件数・リスクベネフィット等をマニュアル
に明記 平時からの情報公開についても4月～運用

○ 差別・偏見防止の明文化

何人も差別・偏見・社会的不利益を受けることはあって
はならない等を明記 （国・県計画にはない）

▶ パブリックコメントの募集、改定時マニュアルも公開。訓練も行われます。

3月の委員会報告 改定素案の公表

2-4. 国・県の施策に係るフィードバックの実施

市独自の取組

実施主体	本部事務局（危機管理室、保健所）
------	------------------

市は、地方自治法に基づく国からの補充的な指示が、市の状況や実態に即していない場合は、県や近隣市等と協議・調整を図った上で国への意見提出などを行い、適切な感染症対策となるよう努める。

また、市が適切な感染症対策を進めていく上で、国・県からの指示が地域の実情等を踏まえていないものと判断される場合は、市の意見等を国・県へフィードバックする。

なお、市が国・県へフィードバックした意見等に対する回答はPDCAサイクルに基づき次のフェーズに活かせるようにするとともに関係局部や関係機関等へ情報共有する。

3月の委員会報告 改定素案の公表

1-1-2. 偏見・差別等に関する啓発

実施主体	政策局、危機管理室、市民局、保健所
------	-------------------

市は、感染症は誰でも感染する可能性があるもので、感染者やその家族、医療従事者、マスク未着用者やワクチン未接種者、社会的背景を持つ人達等に対する偏見・差別は、許されるものではなく、何人も人権は尊重され、偏見・差別、社会的不利益を受けることがあってはならないこと、さらにはこういった偏見・差別等は法的責任を伴い得ることや、患者が受診行動を控える等、感染症対策の妨げにもなること等について啓発する。

次は皆さんの番です。

その他のトピック

ゴミの新しい分別

- ・コンテナ回収が袋へ
- ・缶は基本飲料のみ
- ・新分別表の付け替えは地域や個人

武庫川新駅・夙川駅

- ・今年度から住民説明（2回）
- ・夙川駅前グリーントウンの再々開発の機運 課題の多いことから周辺整備に市も関与していく

外国人市民施策

- ・国際交流センターとの役割分担について方針を示す
→これまでの課題の整理が主な内容
- ・交流から実務的な施策へ

リゾ鳴尾浜

新設オープン（2028）

2020年11月リゾ鳴尾浜閉館から約5年半。
次の事業内容・業者が決定

新病院開設・ 中央病院跡地活用

- ・今年7月から開業
- ・中央病院は順次閉鎖
- ・中央病院跡地の方針が決定

越木岩センター

令和8年10月→12月オープン

- ・公民館→センター
- ・新しい集会施設のあり方



1年間の任期を終えて

リトパ鳴尾浜



○温泉・スパ施設

プライベート温泉エリア

○飲食・交流施設・レストラン

客席100席相当、テラス席の整備
フィットネスやワークショップなどに利用できる多目的スペース

○ペットサービス施設

ペット用品小型店舗

小型犬用ドッグラン（有料）

令和8年9月解体工事

令和9年10月～ 工事(予定)

令和10年4月～ 順次、供用開始(予定)

お知らせ



Maki Miyuki

阪神水道企業団議員の役割を終えます。

- ・国費（補助金）の獲得
- ・技術者の育成
- ・広域化のあり方について
- ・PFOA・PROS (PFAS) と処理について
- ・費用削減について
- ・整備計画の見直し
- ・適切な給与制度に向けて

議会運営委員会の委員（会派幹事）を担います。

市政はあなたのくらしそのもの。
一緒に西宮のまちを創りませんか？

- ・西宮は質の高い住宅都市。
文化・教育・インフラ・自然などの環境を守り、整えること。
- ・手の届く範囲だからこそ、できることがある。
- ・伝える。一緒に悩む。問い続ける。

駅・ポスティングで今日お話した一部を市政報告に書いて配布しています 🍀

ありがとうございました。



Maki Miyuki